

住み慣れた守山で、最期まであなたの^{おも}想いに寄り添うために…

在宅医療・介護連携サポートセンター ☎・☎(581)0340 ☎(581)0203

「もしも」に備え、「つなぐノート(守山市版エンディングノート)」を活用しながら、大切にしていることや医療・介護の希望について考え、信頼できる人と話し合っておきましょう。

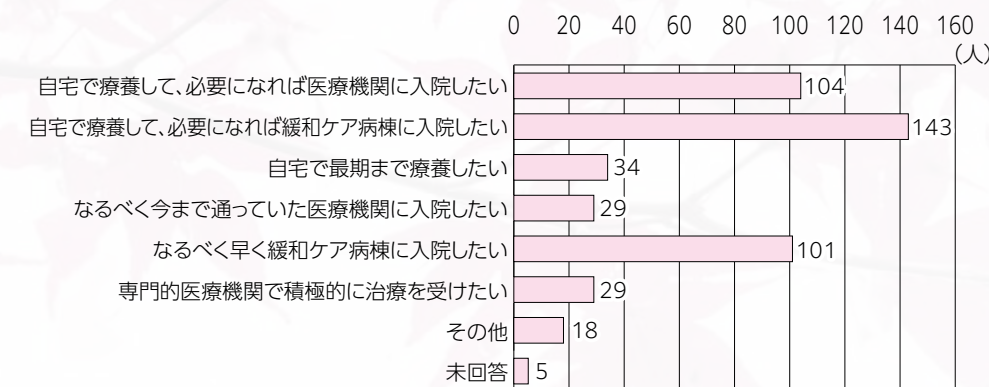
「在宅療養・看取りに関する意識調査」(令和7年度実施)の結果

※調査対象者数(無作為抽出) 1,000人、有効回収数463件

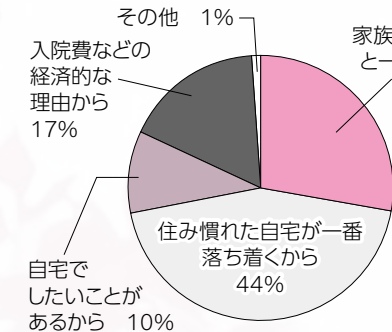
調査の結果、自宅での療養を希望する人は60%を超えていました。また、エンディングノートの内容を家族と共有できていない人がいるという課題が見えてきました。

最期まで、自分の希望に沿った生活を続けるために、家族など信頼できる人と話し合い、つなぐノートに書き留め、共有しておきましょう。

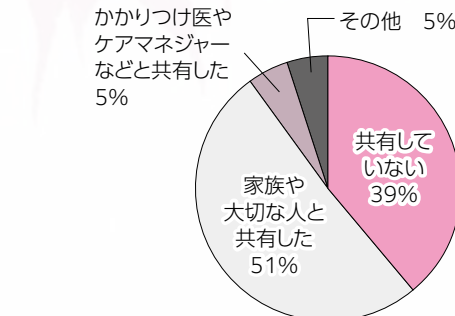
〈死期が迫っている場合、どのようにしたいか〉



〈理由〉



〈エンディングノートの内容を他者と共有しているか〉



本市の在宅療養を支える取り組み「守山顔の見える会」

守山野洲医師会と市では、平成25年度から、医療・介護・福祉に携わる専門職が集う学習会「守山顔の見える会」を2ヵ月に1回開催し、在宅療養・在宅看取りが必要な状態になっても、医療・介護・福祉に携わる多職種が専門性を活かし、連携を強化することにより、住み慣れた守山市で安心して療養できる環境づくりを進めています。

「守山顔の見える会」では、代表である福田 正悟医師が中心となり、津田 透医師、川人 浩之医師と共に在宅療養の推進に取り組んでいます。



津田医師

福田医師

川人医師

自分らしく暮らしていくために必要なこと～人生会議をしてみませんか～

人生の最期を自分の希望に沿ったものにしていくための方法として、「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」という取り組みが注目されています。

これは、「もしも」のときに備え、自分の大切にしていることやどのような医療・介護を望んでいるかについて考え、家族など自分の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有することをいいます。

共有した内容を、つなぐノートに書き留めておきましょう。

考えてみましょう

これまでの人生を振り返り、これからどうしたいか改めて考えてみましょう。
 ・自分はどんなことを大事にしてきたか、大事にしていきたいか。
 ・最期は、どこで・どんなふうに迎えたいか。

話し合いましょう

最期まで自分らしく暮らすためには、自分の思いを話し、ご家族や大切な人と共有しましょう。
 ・これからどうしたいか。
 ・どんなことをしてみたいか。
 ・どんな医療を受けたいか、受けたくないか。

つなぐノートを活用して書き留めておきましょう

思いや考えは状況によって変化します。いつでも書き直しができます。書けるところから書きはじめてみましょう。

つなぐノートのダウンロードはこちら→



在宅療養・看取りに関する展示と講座

在宅療養・看取り展示の紹介

在宅看取りの情報や専門職の取り組み、「つなぐカード(エンディングノートの携帯版)」などの関連グッズを展示します。ぜひお越しください。

つなぐカードの配布を開始します。会場でも受け取れます。



- ・市役所 1階 税務課前展示スペース
 11月2日(月)～30日(月)の開庁時間内
 (初日は午前10時から、最終日は午後3時まで)
- ・北部図書館(ミニ展示)
 11月2日(月)～10日(火)の開館時間内
 (初日は午前11時から、最終日は午後3時まで)

つなぐノートと遺言の作成講座

未来を紡ぐ安心の一步、つなぐノートと遺言の作成講座を開催します。

明治安田生命保険相互会社 奥村 久美子さんによる遺言についての講義、市職員の保健師による、つなぐノートの書き方について学べますので、ぜひお越しください。

11月27日(金)
 午後2時～3時30分
 市役所 1階 多目的ホール
 30人程度
 11月12日(木)までに下記申込フォームへ。

※遺言の作成には、民法に定める方式に従う必要があります。本講座で法律上の効力を有する遺言が作成できるものではありません。



申込フォーム